



贈呈にご協力頂いた日本皐月協同組合・高橋幸夫理事長と鹿沼建具商工組合・白石修務理事長

## 多様な花開く平和な世界を願って — 鹿沼のさつきローマ法王へ贈呈 —

鹿沼のさつきと鹿沼組子の<sup>ついでに</sup>衝立が、バチカン市国のローマ法王と法王庁大使館へ贈られました。

本市では、1本の樹に複数の色や柄の花を咲かせる「さつき」を地球上で共に生きる人々の「多様性」のイメージとして発信しており、人権問題に尽力する法王へ敬意を表して贈呈したものです。

ローマ法王への贈呈は5月15日にサンピエトロ広場で行われ、杉江経済部長により、佐藤市長の親書とともに手渡されました。

## さつき色鮮やかに咲き誇る

— 鹿沼さつき祭り —  
(鹿沼さつき祭り実行委員会)

5月25日から6月3日まで、市花木センターとJAかみつが鹿沼花木センターを会場に「鹿沼さつき祭り」が開催されました。

300点近くのださつきの銘木の他、ローマ法王に贈られたものと同種のさつきも展示され、訪れた人の目を楽しませていました。

また、1万点に及ぶさつきも販売され、お気に入りの1点を選ぶ多くの愛好家の姿が見られました。



## 初夏の夜空に大輪の花

— さつき祭り協賛花火大会 —  
(鹿沼さつき祭り協賛花火大会実行委員会)

真夏日となったさつき祭り初日の5月25日、黒川河畔朝日橋付近で、「さつき祭り協賛花火大会」が開催されました。

鹿沼の四季をイメージした「さつき祭り」「清流」「秋まつり」「いちご」の4部構成、70のプログラムによって打ち上げられた大型スターメインやいちご型花火など、いち早い夏の訪れを告げる大輪の花に約12万人の観客が歓声を上げました。



## 元禄に想いを馳せて

— 芭蕉の笠替え —  
(鹿沼地区材木需要拡大協議会)

5月18日、まちの駅 新・鹿沼宿を出発地に「芭蕉の笠替え」が行われました。

この催しは、俳聖・松尾芭蕉が、「おくのほそ道」の道中、鹿沼宿に一泊し、笠と草鞋を替え日光へ向かったという伝承にちなみ、芭蕉像の笠を新しいものに取り替えるもの。約20人の参加者が、芭蕉の笠塚がある「光太寺」を巡るなど、芭蕉を偲びながらまち歩きを楽しみました。







## 地域の皆さんをおもてなし

### — 栗野中学校オープンスクール —

(花と芸術の街あわの実行委員会)

5月19日～31日、栗野中学校と旧栗野中学校で、学校を一般に公開し、地域との交流を図る「オープンスクール」が行われました。

26日には、その一環として「春フェス」も開催され、生徒たちが運営する「栗中カフェ」は大盛況。多くの来場者たちが、2人組ユニット「れんげ」や栗野中吹奏楽部による演奏に耳を傾けながら、特製のカレーなどを楽しみました。

## 鹿沼こんにやく大満喫！

### — 鹿沼こんにやく祭り —

(鹿沼蒟蒻商組合)

5月25日・26日、まちの駅 新・鹿沼宿で、「鹿沼こんにやく祭り」が行われました。

5月29日の「こんにやくの日」にちなみ、市の特産品「鹿沼こんにやく」のPRのために開催されたこのイベント。初回となる今回は、先着150人にこんにやくみそおでんがプレゼントされたほか、こんにやくの詰め合わせがもらえる輪投げ大会も行われました。



## 熱さも暑さも何のその

### — 金剛山火渡り修行 —

(金剛山瑞峯寺)

5月26日、金剛山瑞峯寺で「金剛山火渡り修行」が行われました。

この日は5月には珍しく、真夏のような日差し。護摩木に火がつけられると、辺り一帯を熱気が包み込みますが、集まった人々の多くは、暑さを振り払うように集中して読経を行っていました。

炎が収まると、いよいよ「火渡り」。参加者たちは次々と素足で燃える護摩木の上を通り抜け、厄除けや家内安全を祈願しました。

## 地域活性化を目指して

### — ルートインジャパンと包括連携協定を締結 —

6月2日に、市とルートインジャパン株式会社との包括連携協力に関する協定締結式が行われました。

この協定は、県内11店舗目となる「ホテルルートイン鹿沼インター」のオープンを機に、県内で初めて締結したもので、連携協力による地域経済等の発展を目的としています。佐藤市長とともに協定書に署名したルートインジャパン永山社長は、「市の発展に寄与できるよう取り組んでいく」と話しました。

